
FA CLUB へようこそ



大阪府立三國丘高等学校

2017.4.10.

【 FA CLUB へようこそ ~ 新・部活に乾杯 】

2017年4月10日

会場 : 日本サッカー協会

● ゲスト高校 「大阪府立三國丘高等学校OB」

大西 宏 さん (三國丘高校東京OB会長)
川淵 三郎 さん (日本サッカー協会最高顧問)

● ホスト高校 「埼玉県立浦和高等学校OB」

浅見 俊雄 さん (元日本初代国際審判員)
轡田 隆史 さん (元朝日新聞論説委員)
松本 光弘 さん (元筑波大学サッカー部監督)
村井 満 さん (Jリーグチェアマン)

・ 司会進行

轡田 隆史 さん (エッセイスト)
小宮 悦子 さん (フリーキャスター)

・ コメンテーター

佐伯 年詩雄 さん (FA-CLUBアドバイザー)

・ ライバル高OB

田嶋 幸三 さん (日本サッカー協会会長)

奥寺 康彦 (FA-CLUB代表)

渡邊 潤一郎 (FA-CLUB プロデューサー)

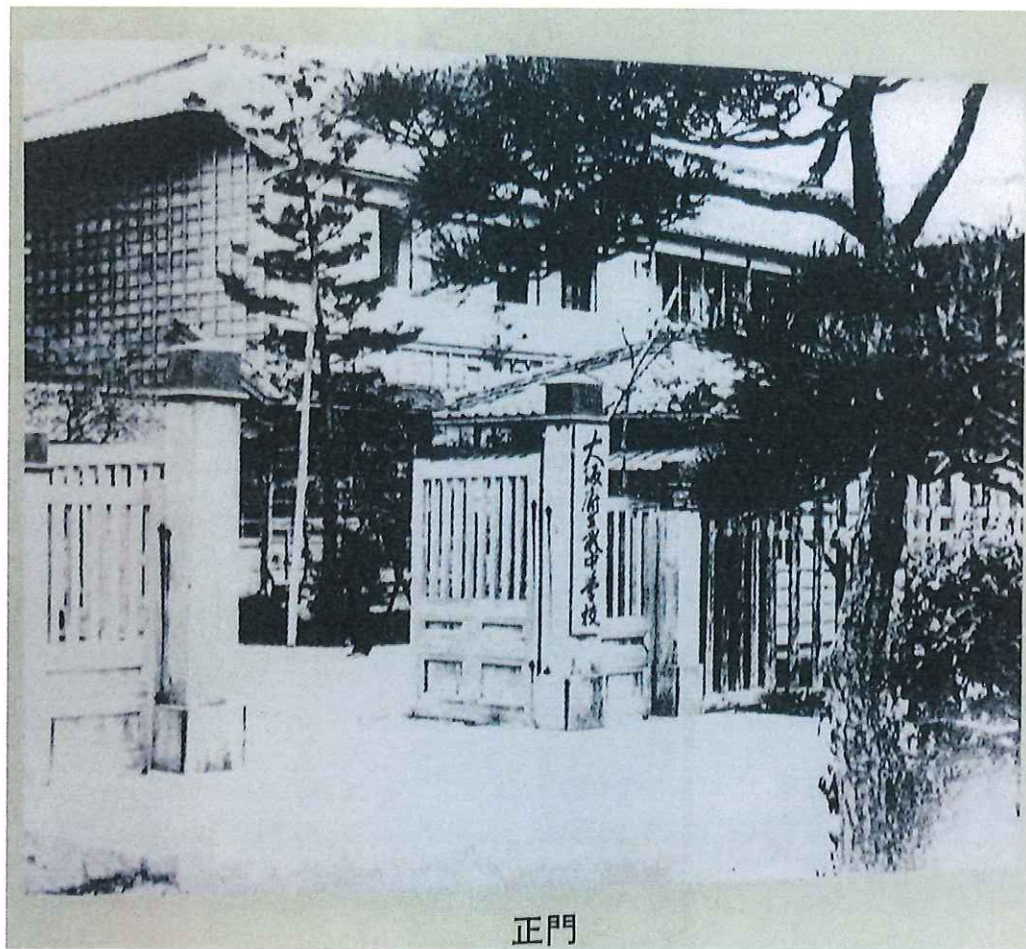


FA
C L U B

FOOTBALL AUTHORITY

www.fa-club.com

大阪府立三國丘高等学校



- 明治 28 年 (1895 年) 大阪府第二尋常中学校 として開校
-

大阪府立三國丘高等学校

古来より『茅渚の海』とよばれた大阪湾一带

ちぬのうみ



大阪城

仁徳天皇陵

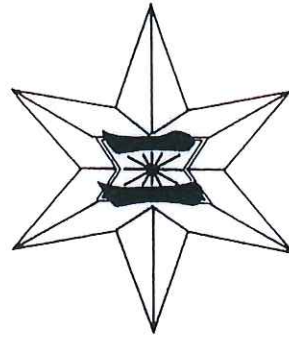
和泉・淡路の両国の間の海の名。現在の大阪湾一带。「一に到りて／古事記中」

● 1899年（明治32年） 校友会誌『茅渟の海』 創刊

今日まで、三國丘サッカー部の歴史を語っている



1901年（明治34年） 大阪府立堺中学校と改称



1916年 大阪府立堺中学校



蹴球部 創部



旧来の部旗 88周年記念誌より

● 1948年（昭和23年）

大阪府立三國丘高等学校

と改称

大阪府立三國丘高等学校 蹴球部

主な戦績

- 1931年（昭和6年）全国中学校蹴球選手権大会 第3位
（堺中学校時代）

三國丘高 最強時代へ

- 1950年（昭和25年）第5回国民体育大会／愛知 第3位
優勝：刈谷
準優勝：浦和

三國丘 最強時代

- 1951年（昭和26年）第6回国民体育大会／愛知

準優勝

決勝戦

0 - 1

浦和高校

三國丘

最強時代

いよいよ全国制覇へ！！

ニッポン 昭和26年12月29日

ダークホース中國勢

地元のホープ三國丘、長田

全国高校サッカー16代表の構顔

三國丘、浦和に肉迫？

激しい新陳代謝 正月の高校サッカー選手権

廿七年シーズンへき頭を飾る恒例の第卅回全国高等学校サッカー選手権大会は一月二、四、六、七の四日間西宮球場で挙行される。出場十六校中昨年度に引続いての出場は刈谷、上野の両東海勢のみで来勢激しい高校サッカー界を物語るが、半面昨年の団体出場チーム中、再び当大会に代表権を獲得したのは前和三国丘刈谷、鶴岡工の四校で、他は何れも団体出場校を退けての出場で、情勢とんとした高校サッカー界がうかがわれる。

優勝候補の筆頭は団体優勝の浦和で四十七連勝と超高校級の強さを誇っている。もし浦和をたおすものありとすれば、団体準優勝の地元三国丘で、団体三四位校を退けて出場する非崎、山口の他、昨年の覇者宇都宮に代って出場する真岡、地元長田の実力も侮れず、団体で浦和に善戦した鶴岡工、荒瀬りの岡山朝日、富岡西、北海高等がまずうわきにのぼるチームである。アジア大会出場に懸きスウェーデンチームの来日と十三年ぶりに

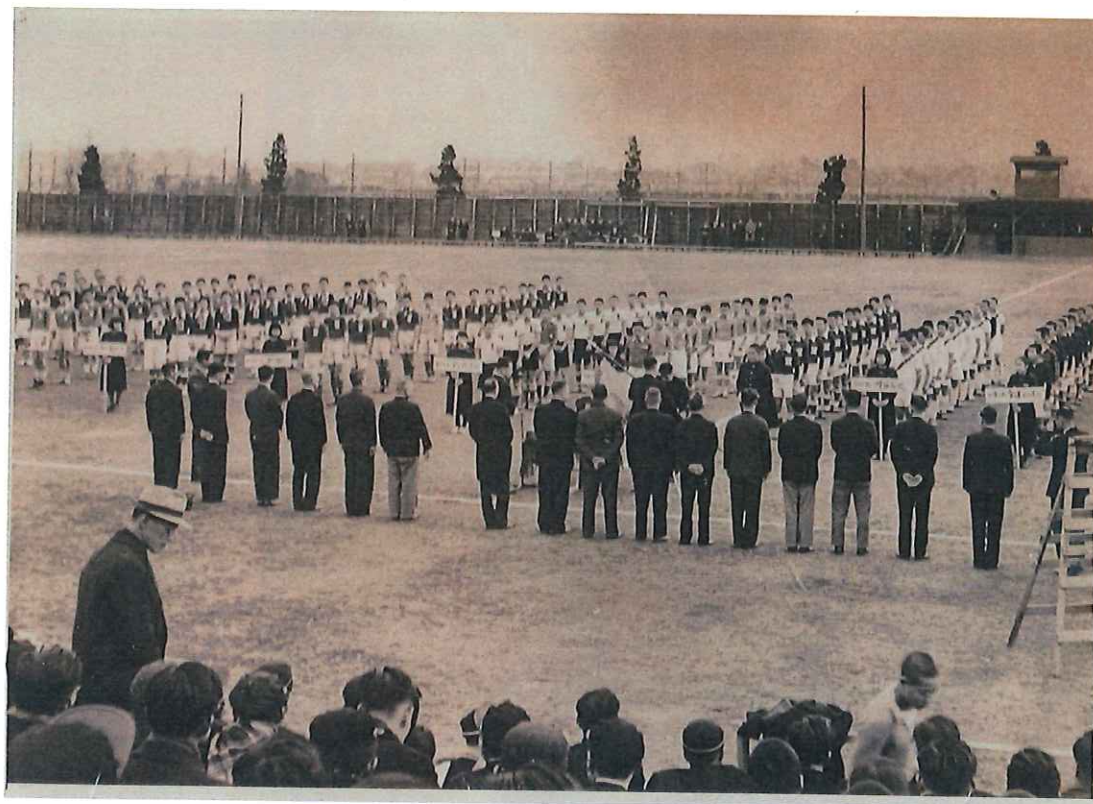
国際サッカーの主流に接した我が国サッカー界はその練習された優い、今後の日本サッカー界が大秀な技術に接したが、それ以上に中学サッカーの興隆にかかる問題、技術の頂点、幅の広い確固たる基礎の上にあることを知った。ここでこの意味から新春早々の高校サッカー絵巻は

1 浦和	和野	高野	校(三)	東(三)	①
2 上野	野崎	高野	校(中)	部(中)	②
3 非崎	崎岡	高野	校(四)	兵(四)	③
4 富岡	岡田	高野	校(兵)	北(兵)	④
5 長田	田代	高野	校(北)	陸(北)	⑤
6 刈谷	谷口	高野	校(愛)	知(愛)	⑥
7 山口	口岡	高野	校(西)	中(西)	⑦
8 山崎	崎岡	高野	校(大)	阪(大)	⑧
9 三浦	浦岡	高野	校(東)	北(東)	⑨
10 北海	海高	高野	校(北)	道(北)	⑩
11 岡山	山朝	高野	校(東)	中(東)	⑪
12 大泉	泉高	高野	校(東)	京(東)	⑫
13 真岡	岡高	高野	校(北)	関(北)	⑬
14 鶴岡	岡工	高野	校(九)	州(九)	⑭
15 真岡	岡工	高野	校(九)	州(九)	⑮
16 鶴岡	岡工	高野	校(九)	州(九)	⑯

浦和高校を中心にして、味津々たる半面、卅回の伝統の中に次代サッカー界を担う若人が培養されることと再認識させられる。(大村)

第30回 全国高校サッカー選手権 / 西宮

1952年（昭和27年）1月2日



開会式

第30回 全国高校サッカー選手権 / 西宮

開会式

三國丘高のイレブン



第30回 全国高校サッカー選手権 / 西宮 1952.1.7.

運命の決勝戦 三國丘 一 浦和



三國丘/大西選手 ヘディングでクリア

第 30 回 全国高校サッカー選手権 / 西宮

1952.1.7.

決勝戦 三國丘 一 浦和



浦和 / 吉田選手 決勝点シーン

昭和27年1月8日 (欠曜日) (二)



栄冠 浦和に輝く 三國丘降し52連勝成る

浦和高校(10100)三國丘(大阪)を破り、52連勝を成し、栄冠を手にした。三國丘は浦和高校に敗れ、51連勝を止めた。この試合は、浦和高校の選手たちが、三國丘の選手たちと激しく戦った。浦和高校は、前半から三國丘のゴールを脅かし、後半には、三國丘のゴールを奪った。この試合は、浦和高校の選手たちが、三國丘の選手たちと激しく戦った。浦和高校は、前半から三國丘のゴールを脅かし、後半には、三國丘のゴールを奪った。

八幡連覇

八幡町(岡山)が、八幡町(岡山)を破り、八幡町(岡山)の連覇を成した。この試合は、八幡町(岡山)の選手たちが、八幡町(岡山)の選手たちと激しく戦った。八幡町(岡山)は、前半から八幡町(岡山)のゴールを脅かし、後半には、八幡町(岡山)のゴールを奪った。

宿命の対決

三國丘 0 - 1 浦和

声援むなく、敗退

高校サッカー 最終日

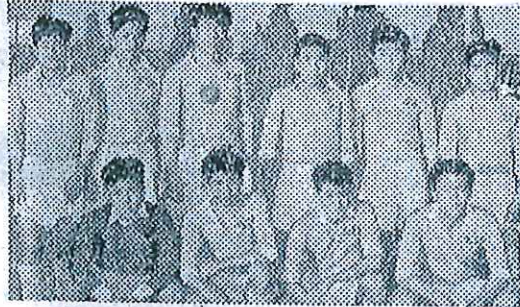
あきらめ切れぬ一戦 声援空し三國丘の敗退

子想通り大阪代表三國丘、南関東代表浦和が勝ち残った第三十回全国高校サッカー選手権大会は七日午後三時から西宮球場で最終日を迎える。優勝争いに巻き込まれた三國丘は、浦和と激しく戦った。浦和は、前半から三國丘のゴールを脅かし、後半には、三國丘のゴールを奪った。この試合は、浦和高校の選手たちが、三國丘の選手たちと激しく戦った。浦和高校は、前半から三國丘のゴールを脅かし、後半には、三國丘のゴールを奪った。

本年度は団体以来宿命の両校にあって負けるに勝てない。激戦を演じたが、組織力に劣る浦和は、三國丘に敗れた。浦和は、前半から三國丘のゴールを脅かし、後半には、三國丘のゴールを奪った。この試合は、浦和高校の選手たちが、三國丘の選手たちと激しく戦った。浦和高校は、前半から三國丘のゴールを脅かし、後半には、三國丘のゴールを奪った。

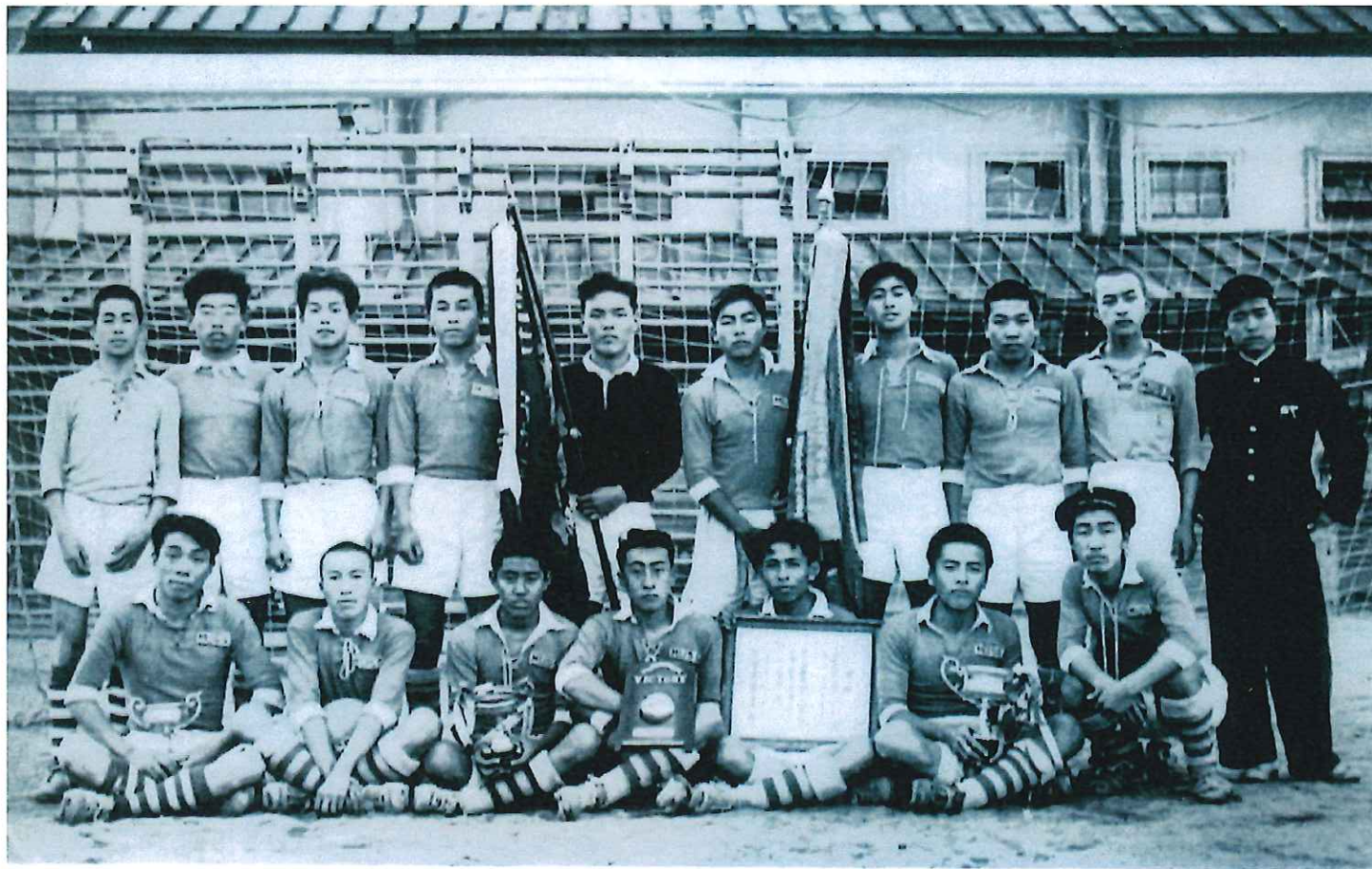
ふさわしいものであった。どちらも同型のチームであっただけに力も互角で先取得点した浦和の優勢はこの日の出来、不出来よりも幸運の得感であり三國丘にとりあきらめられない敗戦ともなった。三國丘の GK 野村、LW、耳野の活躍と浦和の LB 出雲、RI 町田の敗退は賞するに足るものがあつた。(津田弘)

惜敗の三國丘高チーム



大阪府立三國丘高等学校

三國丘サッカー部最強のチーム ～ おしくも全国高校サッカー選手権 準優勝



戦後の最強チーム

● 関西のホープ / 闘志の三國丘 と寸評

しかし、この年も浦和がいた。

毎日新聞

○…兵庫代表は初出場でチーム構成八年目の闘志、兵庫伝統のシート・パスによる攻撃にかなりの味をみせるが実際は守備の強さにたすけられて勝ち進んだ。主将沢田を中心に三國、玉置の3FBは長身での相手にもさす得意な守備に、守備は固く勝つ利谷と三國の3で抽選した名門神戸を倒し優勝した。大阪代表の三國丘(三回)は闘志のチーム。CB川口が唯一のゴール・ゲッターで彼のタテが抜ききれぬ強さを生かすとして全員が力を合わせて成功した。出陣が線の細い大阪チームには昨年の原田

名門誇る利谷、浦和 守備の夢野台 闘志の三國丘

賀し中村の中東流もある。浦和とくに攻撃のチームとして洗練されているのが西中東流の広島島村(二回)である。予選が広島島の苦しいといわれ、広島島は前年同様、東山田を助けて選手らの初優勝に輝いた。もう一つ昔から優勝したためには違いないが、毎年優秀な代表チームを送っているのが西岡東(二回)は戦後急に伸び上った。名門並に出陣しての出陣だが、出陣がまぐろイナナイ慶、西川のコンビによる激しい攻撃が目立ち。

○…つぎに力のサッカーとして最近活躍してきたのが東羽の秋田市高(三回)と東岡東の宇都宮工(二回)ともに八月の東日本大会で決勝を争い、宇都宮工が優勝したが力勝負で秋田はキビ動くのが身。従来より動くがチーム力を盛り上げる最後の力し破った。しかし今年はずいぶん強かった。しかし今年はずいぶん強かった。しかし今年はずいぶん強かった。

○…チーム力にはこの両者より乏しいが代表されるのに三股の上野(三回)南九州の熊本工(三回)がある。上野はうまくみは少いがわらば強く、闘志に富み体力でスタン押ししてやるので練の細い都立チームは苦手。闘志は大阪の明皇はこの不届の闘志に負け、南九州の選手。闘志は大阪の明皇はこの不届の闘志に負け、南九州の選手。

力の熊本工

○…チーム力にはこの両者より乏しいが代表されるのに三股の上野(三回)南九州の熊本工(三回)がある。上野はうまくみは少いがわらば強く、闘志に富み体力でスタン押ししてやるので練の細い都立チームは苦手。闘志は大阪の明皇はこの不届の闘志に負け、南九州の選手。闘志は大阪の明皇はこの不届の闘志に負け、南九州の選手。

全国高校サッカー 代表20校の横顔

宇都宮工高(慶応)
主将 津田 副主将 田村
GK FB HB FW S
このチームは、昨年大会以来、全国的に知られるようになった。主将津田は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将津田は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

富山中野高北豊
主将 山本 副主将 山本
このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将山本は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

関西のホープ / 三國丘

三國丘高(天理)
主将 三國 副主将 三國
このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将三國は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

舟入高(徳島)
主将 舟入 副主将 舟入
このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将舟入は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

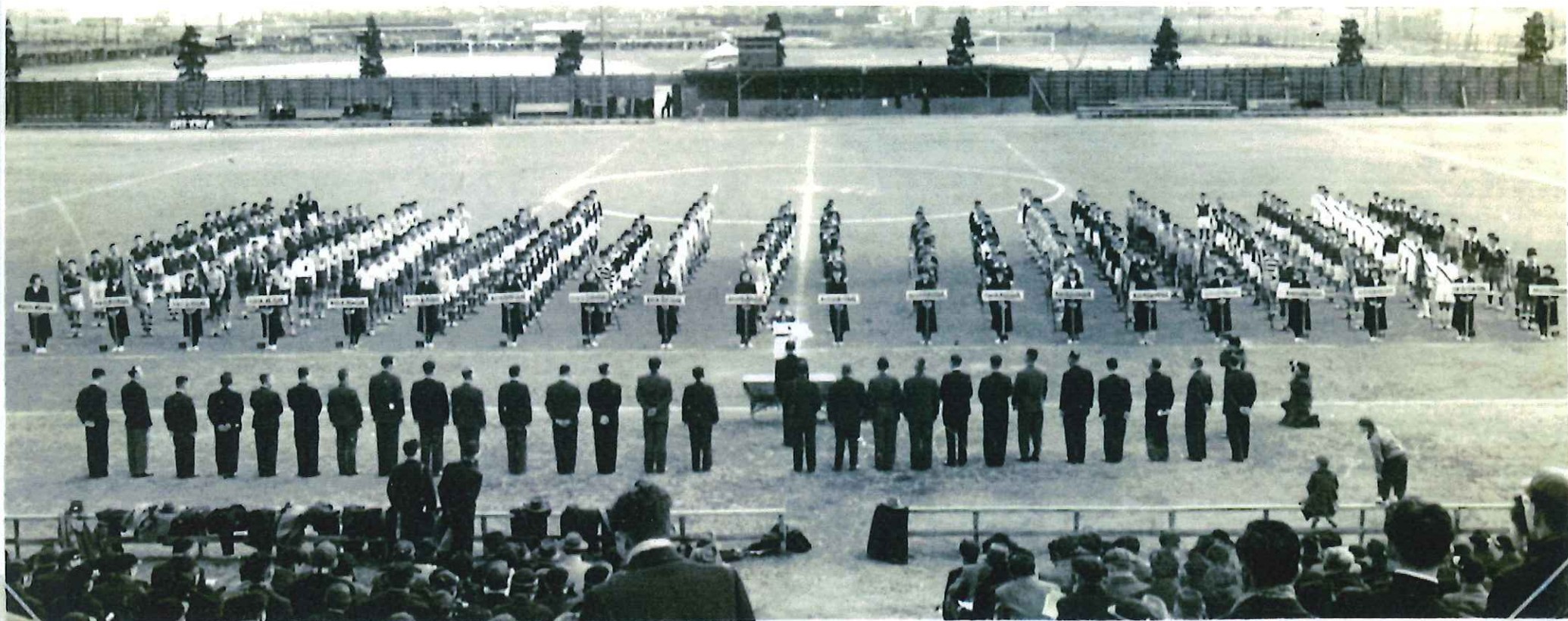
宇都宮、東日本唯一の優勝候補
このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将津田は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

三國丘高(天理)
このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将三國は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

読者新聞
このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。主将津田は、攻撃的な選手で、今年大会では、前年同様、このチームは、昨年の大会以来、全国的に知られるようになった。

名門浦和高の中村と早稲田大学と一緒にプレー出来るなんて考えたもいなかった。

開会式



吾等は右から7番目 浦和高校は5番目(左より)

第33回 全国高校サッカー選手権 / 西宮

1955年1月2・4日

1回戦 6 - 2 富山中部高



に勝利するも

シュート! 惜しくも決まらず
(対富山中部高 30.1.2)

後半猛攻撃して6 {0-1} 2で勝つ



ホッと一息 応援団の前で校母を前く
(成の女子生ファンが撮ったもの)

大会2日目

準々決勝

1 - 4 熊本工高



無情マフ、敵のキーパーのマン前=!
(対熊本工高 30.1.4)

ベスト8に終わり

涙する 川淵選手



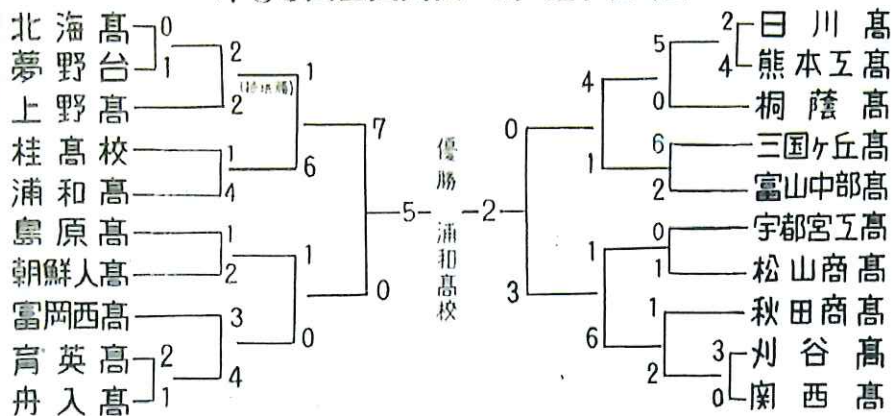
貴方! 泣いてんのね?!

第33回 全国高校サッカー選手権 / 西宮 1955年1月2日~7日

決勝戦

浦和高校 5 - 2 刈谷高校

第33回全国高校サッカー選手権大会



第33回 全国高校サッカー選手権 三国ヶ丘高校チーム

この時代

浦和高校黄金期

を迎えていた

昭和 26 年 1 月 15 日 ～ 昭和 27 年 1 月 7 日

1 年間無敗の 5 2 連勝を成し遂げ

” 埼玉を制するものは、全国を制する ”

と言わしめる、語源となった

※ 次の世代で 6 9 連勝までつづいた

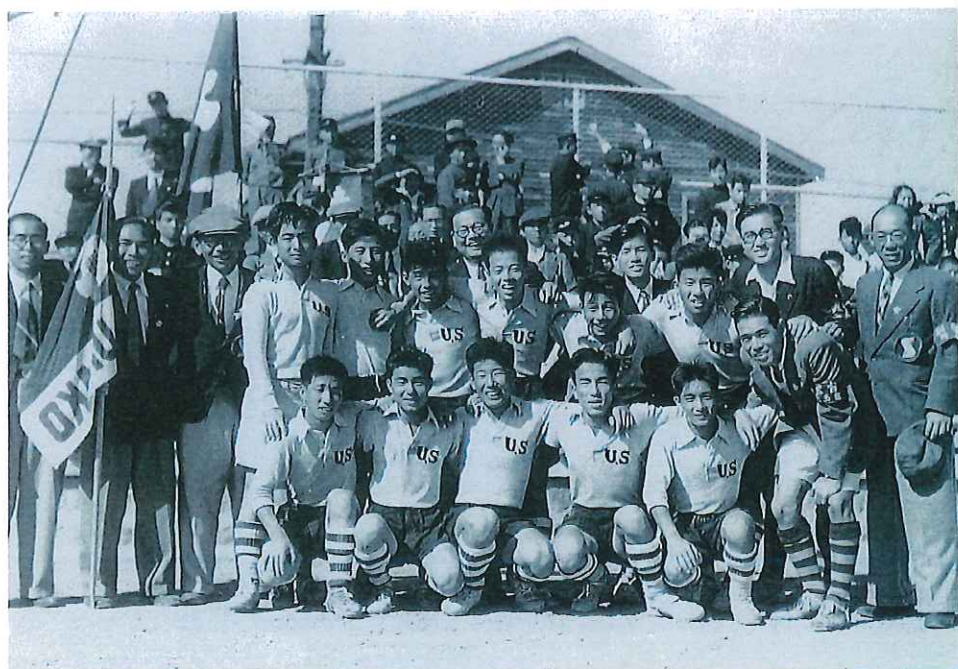
浦和高校黄金期

1949年 ~ 1956年

5度の全国制覇

国民体育大会 2回優勝

全国高校選手権 3回優勝



その後浦和サッカーは

- 浦和西
- 浦和市立
- 浦和南

へと受け継がれて行った

三國丘高校

懐かしの、部活写真集

藤井寺での春季合宿 { 僕が今まで経験した合宿で一番辛く又思い出深いものだ }



大部人は他のアルバムに……………

小林 中村 塩路 吉村 三谷 角野 西野 福田 山口 大西 川 神 津 繁
光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝 光輝

三國丘高校

懐かしの、部活写真集

”鬼”

”鬼”と仇名された如く
そのシボリ方の凄かったこと……
病気で倒れて呉れないかと
本気で思った程だった。

皆の願望のもとに私公こと
中村の一蹴が右足首を強打。
見事にハレ上がったが(サン、タン)。
杖をつき下ら更に厳しく叱咤。
今考えると僕の恩人の1人だ。



—中井大先輩—



この合宿中常に先輩の数は
15人をわる事なく、皆と一緒に
練習して下された。



野村先輩

長かった合宿の最後の日、皆の嬉しそうな顔

- 佐山(当時市大)
- 平林(当時早大)
- 西野(天府大)
- 福田(当時大蔵大)
- 大山(関大OB)
- 乙畔(関大OB)
- 田中(関大OB)
- 乾(当時関大)
- 杉野(関大OB)
- 中井(関大OB)
- 河辺(大阪府大)
- 宅(当時明大)
- 田村(当時明大)

あれから月日が流れ



【昭和】校舎



【平成】校舎

通いなれた校舎も、平成にはいり新しい校舎に



三國丘高等学校サッカー部

創部から100年の間に

- ・ 日本代表選手 4名
- ・ 日本サッカー協会会長 / Jリーグ・チェアマン

を輩出

創部100周年行事として、2014年11月1日

三菱養和巣鴨スポーツセンターにて

宿敵 浦和高校と対戦



創部100周年行事として、2014年11月1日

宿敵 浦和高校に勝利！

三國丘 2 - 1 浦和

62年ぶりの対戦に勝利し

昔年の鬱憤をはらす

創部100周年行事として、2014年11月1日

三菱養和巣鴨スポーツセンターにて

宿敵 浦和高校と62年ぶりの再会



真ん中に座って大西さんと肩を組む浅見さん（向かって前列右）

創部100周年記念行事

2016年11月6日

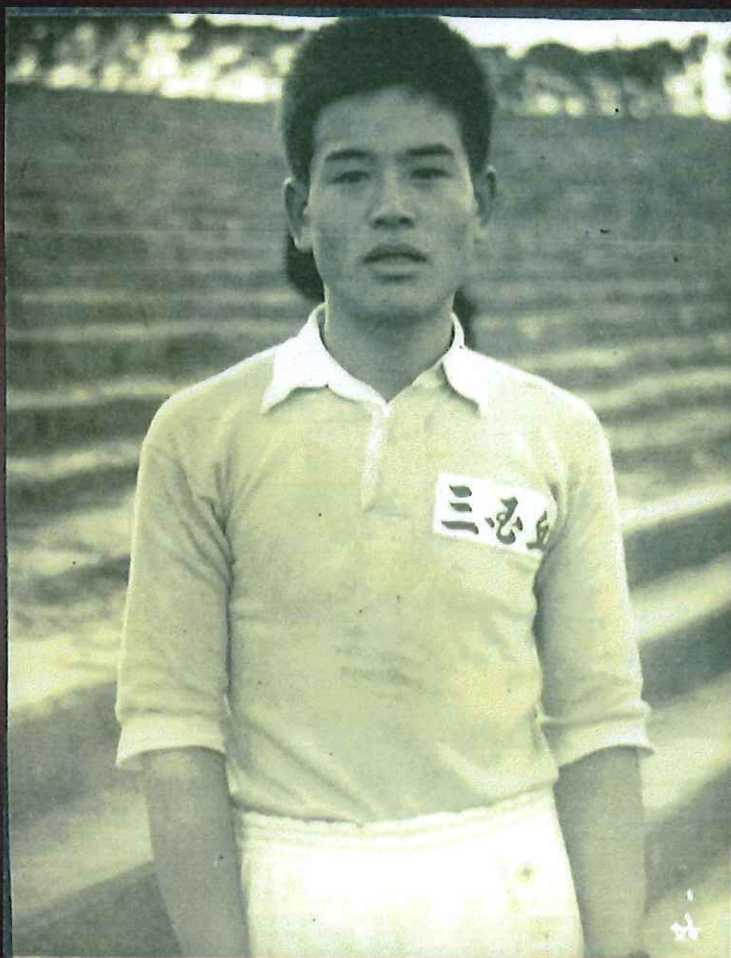


創部100周年記念碑除幕式

記念祝賀会



堺中学校・三国丘高校 サッカー部創部100周年記念祝賀会
～100年繋いだバス、次の百年へ～







堺中学校・三国丘高校サッカー部

部 歌

作詞 武井 昇 (中学32期)

一、 愛校の炎は燃えて

居眠れる獅子は目ざめぬ

栄冠の輝く今ぞ

屈辱の憂き日は去りぬ

三、 炎熱の大地の上に

吹きすさぶ真冬の丘に

闘わん我等が誓い

若き日の血に燃ゆるもの

二、 たぎり起つ鉄の若人

築き来し跡を守りて

団結の熱き血潮に

雄々しくもたてよ若人

四、 服従の心のもとに

球を蹴る我等が力

いかでかは勝たずにおかん

薄幸の兄等がために

堺中学校・三国丘高校サッカー部部歌

武井 昇 作詞
細田 彌三 作曲

♩ = 90

1. あ い こ の ほ の お は も え て い ね
 2. た い じ り う の つ の の の の の の の の の の
 3. え ん ぐ ん ね た の の の の の の の の の の
 4. ふ く く じ ゆ う の の の の の の の の の の

4. む れ る し し は め ざ め り め え い け っ か が つ
 き さ ぶ が ま の お ち か か だ い ん た か け か の ん は か
 す け る し あ し と ふ れ を ゆ ら が ち か か た い た か で わ は さ あ
 を さ ぶ る ま わ れ け ら が ち か か た い た か で わ は さ あ

8. や く い ま ぞ く つ じょ く の う き ひ は さ り ぬ
 き ち し ま ぞ く つ じょ く の う き ひ は さ り ぬ
 ら が ち お か に い ん お わ は じょ く の う き ひ は さ り ぬ
 ず に お か に い ん お わ は じょ く の う き ひ は さ り ぬ

13. 4. は っ こ う の け い ら が た め に

FA CLUB へようこそ



FA
C L U B

FOOTBALL AUTHORITY